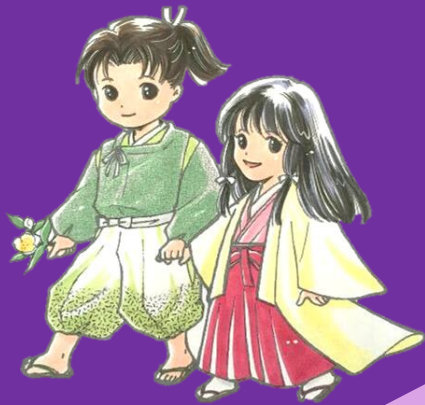


6th

義高ウォーク

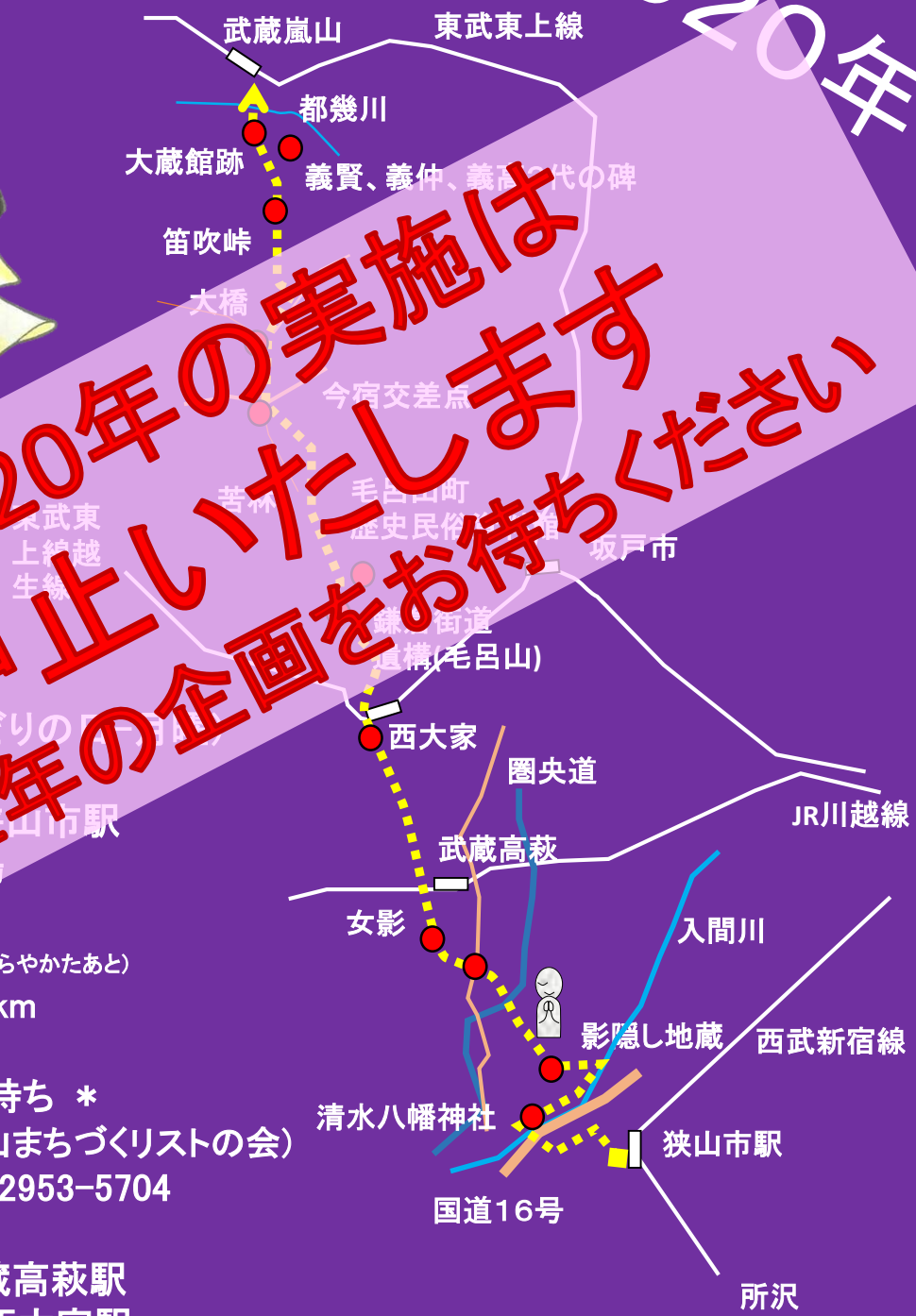
清水冠者 源義高の想いを果たそう

2020年



義高 大姫

2020年の実施は中止いたします
2021年の企画をお待ちください



開催日 5月4日(みどりの日)

集合 8:00AM
西武新宿線 狹山市駅
西口上り広場

出発 8:20AM

目的地 大蔵館跡(おおくらやかたあと)

距離 全行程 約 27km

定員 100名

参加費 300円+お気持ち *

連絡先 吉岡勇三(狭山まちづくりリストの会)
TEL/FAX 04-2953-5704

途中参加退場

可能地点 JR川越線 武蔵高萩駅
東武越生線 西大家駅
東武バス 鳩山、大橋

* 今回のみの価格。ただし沿線での飲み物等の提供や歴史ガイドはございません。エントリーされた方の保険加入はいたします。



義高の想いを果たそうと「義高ウォーク実行委員会」では、狭山まちづくりリストの会の企画により義高ウォークを毎年5月4日に開催しています。

長らく伝承されてきた入間川に伝わる悲話を後世に伝えると同時に平和であることや命の大切さも伝えたいものです。

清水冠者 源義高について

木曾義仲の嫡男として生まれる。母親は巴御前とも、山吹御前とも言われるが決定的な根拠は乏しい。木曾義仲が19の時の子で、生まれは木曾とも松本とも云われる。

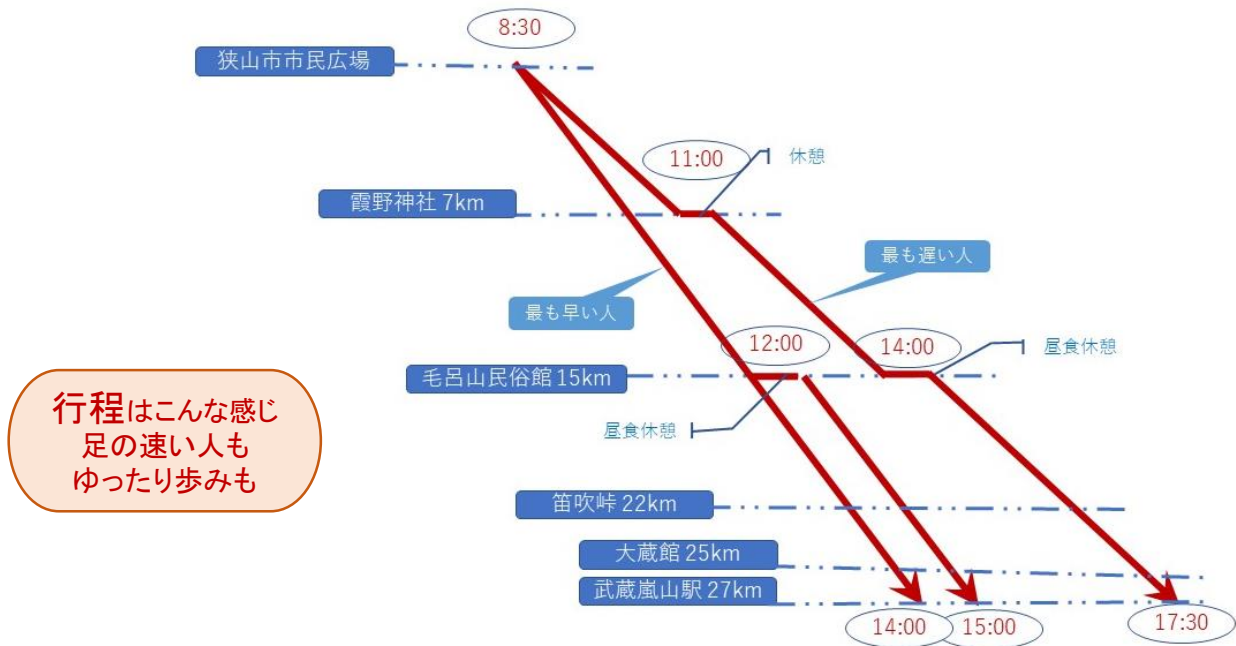
義高は11才で源頼朝の人質になったが大姫と仲睦まじく暮らしていた。
翌年木曾義仲が頼朝の軍勢に討たれると人質の意味が失われた。頼朝は義高が成長すれば自分が狙われると思い義高の殺害を決意した。

12歳の少年義高は大人たちの勝手な都合で理不尽な生涯を終わった。
一部始終を見ていた郷人たちにより遺骸が埋葬されその上に義母の北条政子は清水八幡宮を建てたと伝わる。
この悲劇は836年もの長きにわたり入間川の里人によって語り継がれている。

平安時代末期、平家打倒の流れの中 源頼朝は源氏同志で覇権を争う行動を起こしました。従弟で若い木曾義仲はこれを冷静に受け止め、源頼朝との無用な戦を避けるために嫡男の清水冠者義高を人質として頼朝に差し出し、頼朝は娘の大姫の許嫁にしようと喜んだ。

これを知った義高は頼朝に連れられてきた道を帰るかのよう義仲の生まれた武蔵嵐山にある大蔵館の方向に向かって鎌倉から逃げるが、頼朝の追手により入間川原で捕まり、寿永3年(1184年)4月26日斬首された首は鎌倉に持ち帰られてしまった。

義高ウォークでは清水八幡宮の他に一度は逃げたと云われる影隠し地藏に寄り、そのあと鎌倉古道を北上し大蔵館跡を目指します。



お申し込みは下記内容で電話またはFAXでお申し込みください。
TEL/FAX 04-2953-5704 義高ウォーク実行委員会 吉岡勇三
参加費 無料(今年度のみ) エントリーされた方の保険は加入いたしますのでご安心ください。
人の集合を避けるため、開会式や休憩ポイントでは飲料等の提供、そして歴史ポイントでのガイドはありません。

ご氏名	ご住所	連絡先	年齢(任意)